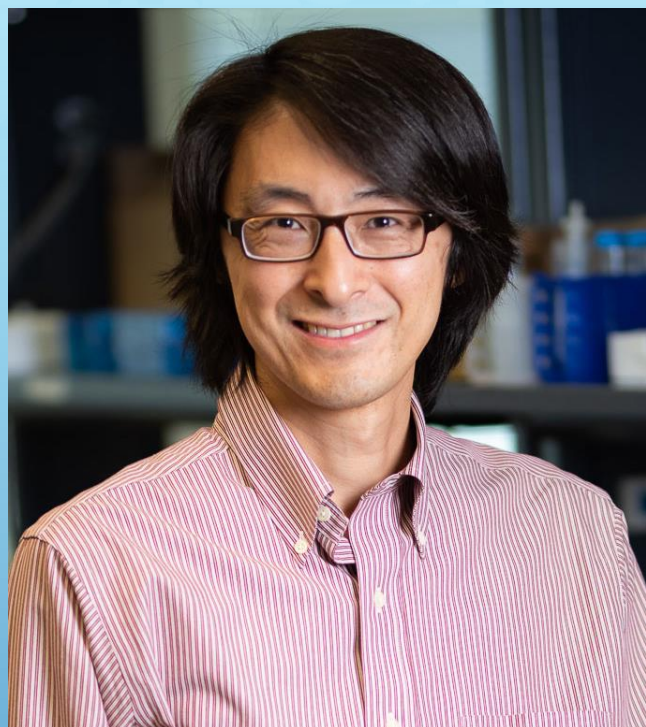


骨格幹細胞からみた骨生物学

日時：令和7年5月26日（月）17：30～18：30

場所：旗の台校舎1号館 6階 会議室



テキサス大学
ヒューストン校歯学部

小野法明 先生

講演要旨

骨格幹細胞は、生涯に亘り骨芽細胞を作り続ける骨の維持に必須な体性幹細胞である。近年その生体内での局在が明らかとなり、骨格幹細胞が骨の成長、再生、疾患などの局面で担う多様な機能が注目を浴びている。当研究室では、細胞系譜解析法を中心とした網羅的なアプローチを活用し、骨格幹細胞の機能の解析に取り組んでいる。本講演では、骨格幹細胞に関する最新の所見を紹介し、これらの幹細胞がどのように骨系統の疾患に関与しその治療標的となりうるか討論したい。骨格幹細胞とその細胞系譜に関する取り組みが、今後画期的な治療方法を生み出す道標を示すことができればと願う。

主催

昭和医科大学歯学部口腔生化学講座

142-8555 品川区旗の台1-5-8

担当:山田（内線:8163）

本セミナーはリカレント教育認定です。